



## 誤食注意！！

年末年始はクリスマスやお正月など行事が多い季節ですが、異物の誤食による事故が多い季節でもあります。誤って異物を飲み込んでしまった場合、**ペットの命に係わる**ケースもありますので、注意が必要です。

異物とは、誤って飲み込んでしまった物のことです。異物が消化管内に停滞し、通過障害が起こる事で**食欲不振・嘔吐**などの症状が現れます。異物が鋭利な場合、物理的に消化管を突き破ることで**腹膜炎**なり最悪死に至る事もあります。



### ☆異物のよくある例

- ・ビニール片
- ・プラスチック
- ・紐やリボン
- ・乾燥材や保冷剤
- ・タバコ
- ・竹串
- ・トウモロコシの芯
- ・イヤホン
- ・**人用の薬**
- ・**ブドウ（レーズン）**
- ・**チョコ**
- ・**玉ねぎ**
- ・**ユリ科の植物**
- ・**アボカド**



左の例のうち、**赤字は中毒性のある物**です。

人間にとって害がなくとも、犬猫にとっては少量でも毒物となる可能性があります。

## もし誤食をしてしまったら・・・

まずは、すぐに動物病院に受診しましょう！

✓どの様な**大きさ・形状・材質**の物か？

✓**いつ**飲み込んだか？

✓どのような**症状**が出ているか？

の3点をお伝えください。

当院では、異物誤食の治療において、薬剤による催吐処置もしくは、麻酔下での内視鏡や開腹手術による異物摘出を行っております。

一方で、誤食した異物の種類やサイズ、誤食経過時間によっては、経過観察をする場合もあるため、治療方針は獣医師とよくご相談ください。



## 家で出来る対策

- ・危険な食べ物を把握する。
- ・ケージを活用する。
- ・安全なおもちゃを選ぶ。
- ・危険なものを置かない。

犬猫の誤食事故では、身近なありとあらゆるものが異物になり得ます。特に、おもちゃや食べ物、小さく飲み込みやすい物は、比較的異物となりやすいです。気を付けて年末年始をお過ごしください。



12/31～1/3の間、診察受付時間が下記の通り変更になります。

**午前 8:30～11:30**

**午後 13:00～15:00**



また、フードショップはCLOSEとなりますので、フードをご希望の方は、本院にてお声がけください。

※この期間、WEB受付は終日使用不可となります。

※この期間、基本的に時間外診療は行っておりません。